

りんご生育情報(8月号)

令和3年8月12日発行

【発行】宮城県登米農業改良普及センター

電話 0220-22-6127

HP <https://www.pref.miyagi.jp/site/tmnokai/>

普及センターのホームページでは、過去の技術情報も掲載しています。お手持ちのスマートフォンなどで右のQRコードを読み取るとホームページへ移動できますので、ご利用ください。



1. 果実肥大状況

8月10日現在の「ふじ」果実肥大調査結果は表1のとおりです。果実の肥大状況は平年並となっています。

表1 「ふじ」果実肥大調査結果
(東和町錦織, 単位 mm)

| | 本年 | 平年値 | 平年比% |
|-----|------|------|-------|
| タテ径 | 58.8 | 59.1 | 99.5 |
| ヨコ径 | 66.9 | 65.4 | 102.3 |

2. 病害虫の発生予報

[宮城県病害虫防除所の発生予報\(7月30日発行\)](#)では、**斑点落葉病とハダニ類が「やや多」**となっています。

表2 宮城県内りんごの発生予報
(7月30日発表, 宮城県病害虫防除所)

| 病害虫名 | 発生量 |
|-------|-----|
| 斑点落葉病 | やや多 |
| ハダニ類 | やや多 |

斑点落葉病は、高温多湿の気象条件が続くと病勢が進展するおそれがあります。徒長枝や二次伸長した新しい展開葉の発生状況を観察し、散布間隔が空きすぎないように計画的に防除を実施しましょう。防除にあたっては、不要な徒長枝等を取り除き、薬剤が樹木全体に行き渡るようにしましょう。

ハダニ類は、高温が発生に好適なので、ほ場をよく確認し1葉あたりに3頭以上寄生している場合には防除を実施してください。**特に農薬のかかりにくい主幹部の葉を主に、よく確認しましょう。**

3. 今後の管理(「つがる」等早生品種の着色管理)について

「つがる」など、9月に収穫する品種の葉摘みの開始時期は、一般に収穫予定の10~15日前です。葉摘みの程度は、最初は軽く2~3枚程度とし、玉回しの時期には果そう葉の30~40%を上限とします。

早生品種の着色が進む時期は残暑に当たります。最低気温が20℃を超えるような日が続く場合は、必要以上に葉摘みを強くしても着色は進みません。

[仙台管区气象台が8月12日付けで発表した1か月予報](#)では、8月21日から27日までは平年より気温が高くなる確率が60%、8月28日から9月10日までは50%となっています。過剰な葉摘みは日やけ果の発生を助長する恐れがあるので、葉摘みは適切に行いましょう。



参考:「果実日本8月号 2020 vol.75」(日本園芸農業協同組合連合会)